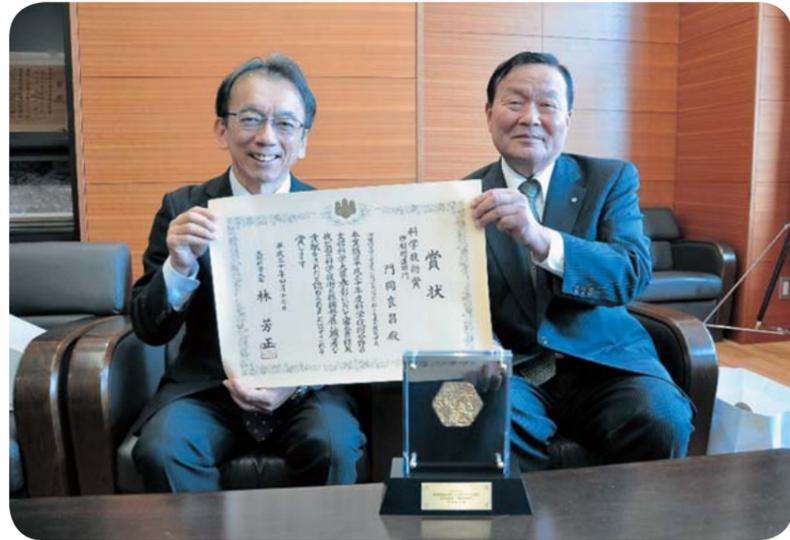


文部科学大臣表彰にて科学技術賞を受賞！

山都町清和地区出身の門岡良昌さんが平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において「科学技術賞 理解増進部門」を受賞されました。

門岡さんは世界最速のスーパーコンピューター「京」の開発に従事され、完成後は、同じ科学技術賞の研究部門にて受賞した「心臓シミュレータによる臨床研究」にも携わり、心臓の研究や東日本大震災の津波解析など「京」を使った様々な分野の研究例を、青少年をはじめ一般の方を対象とした講演会で紹介されてきました。今回は、その講演活動が「科学技術賞 理解増進部門」の受賞につながりました。



今回の表彰を受け門岡さんは、「育ててくれたふるさと山都町には感謝しかない。これまで10年間やってきた事が一つの形として表彰されてよかった。これまでやってきた事は、若い人たちに受け継ぎ、次のステップに向けてまた研究を続けて頑張っていきたい。また、青少年に良い刺激を与えていきたい。」と喜びとこれからの思いを語られました。



町長室から
梅田 穰

4月10日町内小学校の入学式が一堂に行われました。新入生86名の皆様に心からお祝いを申し上げます。私は御岳小学校の入学式に出席しましたが、4名の元気の良い新入生の返事を頼もしく感じました。多くの来賓の方々にも御出席いただき、地域における小学校の存在の大きさを改めて感じました。そうした中、山都町では、急激に進む少子化に対応するため、「山都町小中学校検討委員会」を設置し、議論を重ねた結果、来年4月より御岳小学校と矢部小学校の統合という苦渋の決断を致しました。長い歴史と伝統と多くの卒業生を輩出された学校はなくなりませんが、今後、皆さんの想いを大事に活かす教育に努めて参ります。今後も引き続き、複式学級の解消や学力・競争力の向上と共に、多様な教育の場、地域に根差した教育に取り組んで参ります。町民の皆様の御意見をいただく機会を作りたいと思います。

4月7日の新聞に2045年の推計人口予測で山都町は65歳以上の高齢者の割合が62.3%、75歳以上の高齢者が47.4%と県内で最も高い数値が発表されました。しかし、高齢化率の数字だけを見て将来を悲観してばかりいてはいけません。山都町には43000人を越える方々が老人会に所属され、活発に活動しておられます。老人大学、女性学級、文化サークル、ランドゴルフ、ゲートボール等様々な活動を通じて健康で生き生きと生活をされている現状を今一度町民の皆さんと認識を共有して、さらに高齢者の方々が暮らしやすい町づくりを進めたいと思います。取り組みの一つとして、農業を通じた仲間作りや農産物の開発・販売、長年培ってこられた技術や趣味を活かした特産品作りに挑戦して欲しいと思います。老人会や社会福祉協議会等と連携を強化し、生き生きと活動する高齢者、挑戦する高齢者が山都町を元気にする原動力になる町づくりを目指したいと思います。

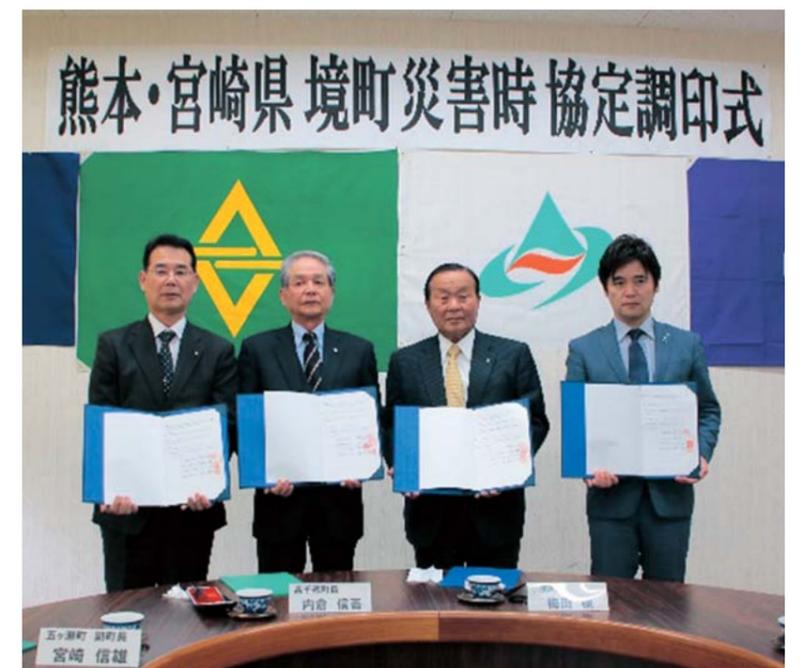
皆様からのアイデアをぜひ役場へお寄せいただきたいと思います。

県境を越えて災害応援協定を締結！

4月22日、高森町役場において、隣接する熊本県高森町、宮崎県五ヶ瀬町、高千穂町および本町の4町で、県境を越えて災害応援協定を締結しました。

この協定は、大規模災害時に協定町が災害等にあった場合、応急措置及び応急復旧に必要な資機材、生活物資等の提供や、職員の派遣等を行うものです。平成28年熊本地震では、協定町から職員の派遣や支援物資の提供などを受けましたが、今回の教訓を活かし、隣接町ならではの災害時情報の共有や避難所の共有、風評被害払拭に係る協働事業の応援協力を盛り込んでいます。

協定を結ぶことにより、迅速な対応が可能になり住民の安心安全を守ることが期待されています。



県下では25年ぶり!! 厚生労働大臣賞を受賞されました！

橋本はり灸院の橋本善治郎さん（浜町）が厚生労働大臣賞を受賞されました。

この賞は、「あはき（あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師）等に関する法律」制定70周年を記念し、あはきの発展に貢献した功労者88人に対し贈られる賞で、熊本県から受賞者が出るのは約25年ぶりとのことです。

橋本さんは平成13年に熊本県知事医事功労賞を受賞され、約20年間にわたり熊本県鍼灸師会（現在の熊本県鍼灸マッサージ師会）会長として、熊本県の鍼灸マッサージを通じた地域医療と疾病の予防へ寄与され、鍼灸マッサージの普及にも多大な貢献をされました。

今回の受賞を受け、橋本さんは「今までやってきたことが認められたのはありがたい。今後も地域医療に貢献できるよう、真摯に努力していきたい。」と受賞の喜びと今後の抱負を語られました。



橋本善治郎さんと恵子さん